

相続放棄と生命保険(その1) 相続放棄とは

【3種類の相続方法】

相続には、単純承認、限定承認、相続放棄の3種類の方法があります。どれを選ぶかは、相続の開始を知った時から3か月以内に決めなければなりません。それを過ぎると単純承認したことになります。このうち相続放棄は、プラスの財産(預金等)もマイナスの財産(借金等)も全て相続しない方法です。一度放棄すると基本的に撤回できません。

【相続放棄が有効なケース】

代表的なのは、被相続人に明らかにマイナスの財産が多いケースです。親が莫大な借金を残して亡くなった場合でも、相続放棄すれば肩代わりをしなくて済みます。

また、特定の相続人に相続財産を集中させるため、他の相続人が相続放棄を選択するケースもあります。自営業者や農家だった父の遺産を長男が丸ごと相続し、事業承継するような場合です。ほかには、自分の法定相続分は既に生前贈与で受け取っていて新たな取り分がないケースや、相続争いに関わりたくないケースにも相続放棄することがあります。

【相続税額への影響】

相続放棄する人が出た場合、相続財産にかかる税金には影響するのでしょうか。次の2つについて見てみましょう。

(1)基礎控除

一定額以下の財産しかない人には相続税がかかりません。この金額を「基礎控除」といい法定相続人の数で決まります。この金額は相続放棄があっても変わりませんから、相続の放棄があっても、相続税がかかるかかからないかには影響がないのです。

(2)みなし相続財産の非課税枠

死亡保険金や死亡退職金は「みなし相続財産」といい、法定相続人の数に応じた非課税枠があります。相続の放棄があっても非課税枠は変わりませんが、相続放棄した人は非課税枠を使うことができないので、受け取ったお金の全額が相続税の対象になります。非課税枠は相続放棄していない相続人で分け合うこととなります。

今回はこの生命保険が相続時にどう扱われるのかを取り上げます。あなたの身近にある生命保険を活用して大切な財産を守るため、ぜひ一度専門家に相談してみてくださいはいかがでしょうか。



あとがき

日増しに暖くなり、すっかり春めいてまいりました。桜の蕾もほころび始めた今日この頃。桜の花がさく時期に降る雨を「桜雨」といいます。雨で桜の花びらが濡れ、晴れの日より濃く見える桜に風情を感じながらも、その雨で桜の花びらが散ってしまうのではないかと何とも言えない気持ちになるのです。

今年も遠くから桜の花を眺め、春を感じながらも、やっぱり花より団子な私なのでした。



出口秀美

◆ドリーマーではご葬儀前に必ず全てのお見積もりをお客様に提示いたします。
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

ドリーマーのご葬儀費用

お問い合わせ
資料請求

フリーダイヤル
0120-44-5880
365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中 !!

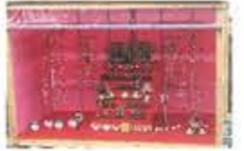
お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。

はなだより~ひな祭りと花~

3月の有名なイベントであるひな祭り。ひな祭りには桃の花など、歌にも出てくるように綺麗なお花が欠かせないのではないのでしょうか。今回の花だよりでは、ひな祭りに飾る花とその理由についてご紹介いたします。

【桃の花】

『ひなまつり』の歌詞にもあるように、桃の花を飾る家庭は全国的にも多いです。ひな祭りは「桃の節句」とも言われています。昔は、桃の花が咲く頃にひな祭りが行われていました。桃には、厄除け、魔よけをしてくれる力があるとされ、女の子が健やかに成長するようにとの願いが込められています。



【桜】

ひな祭りに桜を飾る方も多いです。日本を代表する桜が飾られる事で、日本の行事という雰囲気にもなります。桜の花びらを入れた甘酒を飲む所もあるようです。

桜にも、桃の花と同様、魔よけと邪気払いをしてくれる力があるとされています。



【橘】

ひな壇に飾られる有名な木ではないでしょうか。柑橘系の木ですね。橘は雛人形に向かって左側に飾るのが決まりです。

橘を飾る理由は、不老長寿を願うためです。昔から日本に自生している植物で、神のよりしろとも言われていました。基本的には、桃の花とセットで置かれることが多いです。



【菜の花】

昔からではなく最近ですが、菜の花を飾るという方も居るようです。菜の花はお浸しにして食べるもので、ひな祭りに飾るというよりは春を感じることが出来るように食卓に並ぶことが多いかもしれません。

ひな祭りに飾られる花には様々な意味が込められているようですね。桃と橘は雛人形の隣に飾られるなど、ひな祭りには切っても切れない花のようです。魔よけや邪気払い、不老長寿など女の子の健やかな成長を願う意味が込められているようです。春の訪れを感じるこの季節に、お花を飾ってみてはいかがでしょうか。

フลาวースペースデザイン部

ちょっとひといき

私の母方の祖母は99才。今年で100才を迎えます。6年程前から…ちょうど愛犬ラッキーが我が家に来た頃から一緒に暮らしています。

大正生まれの祖母は昔からおもてなしの精神が高く、相手のことをとても気遣い、古きゆかき日本女性そのものでした。訪問客があれば自宅内へ招き入れ、飲み物やお茶菓子を出し、必ずもてなしていました。私が小さい頃にはよく祖母の家に行くと次々と飲み物や食べ物を出され、お腹いっぱいになって帰っていたものです。

そんな祖母も今では寝たきりとなり、ベッドの上での生活です。それでも顔を出すと「大丈夫か?」と私の気遣いをするような祖母です。認知症もでてきており顔や名前を忘れることもあります。しっかりとしている時は昔の祖母のままです。

寝たきりになるまでの一年前までは自宅内で元気に歩き、洗濯物を畳んだり、よくお話をしていたのですが、玄関で足を滑らせ転倒をし、ケガをしてからは今の生活になりました。その際にしばらく入院していた病院で介護施設への入所を勧められ、今まで考えていなかったのですが、施設にあづけるのか、自宅で介護をするのか…私たち家族はその選択をせまられました。

しかし何よりも自宅で過ごしたいという祖母の気持ちがあり、『このまま自宅に帰れなくなるのか…』と不安な表情を見せたときのあの祖母の顔は忘れることができません。母自身は、家で見てあげたいと気持ちが決まっていたのですが、今後の家族への影響や今までと違うであろう大変な生活が始まることへの不安もありどうしたらよいのかと心が揺れているようでした。そんな母の姿を見て、父と私の答えは決まっていました。今まで通り自宅でみんな一緒に生活をしよう…。

決断後は現在の生活になりますが、自宅には訪問介護の方にきていただくようになり、お風呂も自宅に入れてくださり、今では自宅介護にして本当に良かったと思います。日に日に衰えてはいる祖母ですが、親切な訪問介護の皆さんにも支えていただき、家族皆で生活ができています今は幸せです。

私は、「古き良き女性」「おもてなしの精神」、そんな祖母の生き方を継いでいけるよう、少々高い目標にはなりますが、胸に掲げ日々過ごしていきたいと思っています。3話にわたるお話も今回でおしまいです。お付き合いいただきありがとうございました。



岩佐いほり